

《パソコンはゲームボーイ?》

昨年、パソコンが壊れたので新しく買ったのですが、変な機械(富士通)でカーソルは前の頁だのアチコチに飛ばし、お送りします③太川洋司・米沢書簡集にはさみましました赤を入れたページのように変に印刷されたりします。これはESCキーを押すと画面左下に現れる【印刷】を選び次に【マニ】を選ぶと出て来る画面の隅っこ右下(紙面の下端)の10mmを9mmに訂正したら全ページが直りました。

私は天才(?)と感謝しました。()の位置まで行く裏技に《Tabキリ or Tab+Shiftキリ》等があります。パソコンにはありません。私がナントナク発見します。実はマウスを使うのが下手なので成るべくキイで動かす工夫をします。

私は昭和61年ごろ電気屋がデパートを貸してくれずとヤブ(ゴキウ)を呉れました。それは面白くて面白くて角度を決め発射して当たると敵機が落ち、点が入る。始めると休止の音がなくて何処(マナ)にも行けなくなるモノでした。

次にPC88(NEC)をプリンターと一緒に30万円(我が家には大金!)で買い、早速説明書見ながら使ってみました。そしたらその機械がビビると音を

そのうち、会計・給料計算・理事会議案書等こなせるようになり特に会計の費目の前に二桁の数字を決算書の並び通りに例えば『三入会金』としたら貸借対照表まで上手く出来ました。簿記もロクに習ったこともないのに一度目の設定でラツキイでした。今ではワープロのみですが表計算もこなしていました。その頃の会の予算・決算は数千万から一億円位でした。

創立20周年には、一億円を教育基金としての募金をしました。

その為に会員二万の新宛名カード(これも私の設計)を一人で仕分けのマークを手仕事・夜なべ(電気スタンド2ヶをカッと両側につけて一ヶ月かな)でレクラス別に分けて呼びかけたりして成功させました。

次は本造り、玉川学園創立者小原國芳先生のことを、初期の弟子で想い出を言うことで、友達7・8人と、旧制の卒業生千人ほどに呼びかけて、『野路ははるけし一六五人の小原先生』(361頁)という本を千冊、卒業生の印刷屋の協力で造りもう千冊追加、千五百冊は売り赤字は出さず会計もトントンでした。私が企画、小学2年からの親友の永田三條子さん(N)が校正、原

たてて踊り、マニして電気屋に電話して電気屋が来ても解らず、結局NECの人に來て貰ったらコピー(紙の5mm)が裏返しだったのです。そのころはそんなモノでした。

88には猫が鼠を追っかけるゲームが機械に内臓されていて、これも結構遊びました。『漢字ワープロの書ける本』なるモノを買い、何ヶ月もかかって数千行の『マニ』を打ち込み、それで、ランさせて印刷できたのは(住所と名前)だけ。それも記憶されず1回で終わり。それで、ソフトの良いのを見つけないければと痛感。

一年後、上位機種PC98(NEC)を仕事先の玉川学園同窓会事務局と自宅(私用)を買い込む。

『マニ』ぶれっせを見付け、これは私に使いこなせました。でも、その頃は辞書が終わりの方から壊れるし、辞書0件登録の失敗もありましたそれで、『マニ』をコピーするマニがあるなんて知りませんでした。マニ(7万円)を7組も買いました。

この頃『ロードランナー』(紙5吋)で毎日遊びました。『ロードランナー』一五〇場面クリヤしたと昭和六十三年の元旦の朝日新聞のグラビアに載り、それがきっかけで或会社から要請され講習会のパネラーをしたこともあります。

稿をパソコンし、Nに送り、Nが校正、本人に送り、本人校正、私に送り返され、私がパソコン。この間の封筒は宛名だけ書けば良いように私が造りました。パソコンしたものをその儘、版下に印刷屋が使ってくれました。頁数字だけ少々貧弱だったので打ち直してくれました。

これも企画通りでした。この時のパソコンはNECのノートパソコンで実に使い勝手が良く外字(名前等)で珍しくてパソコンに無い字だの、数字半角を縦に2個並べ1字分とする、31・18・25・とかも作れたし、並べ替えも自在でした。

始め一台をリュックで背負って自宅・同窓会事務局・病院(亭主の鬱の、ここは3食付きで暇が沢山ありました。精神病院はコード・紐・刃物・マツチ等の持込は駄目でロッカーにパソコンを入れ鍵を掛けて病院から外出?)を歩いていました。が、重くて結局3台買いました。高いお遊びでした。私にとつてパソコンは『お遊び』でした。今も太川さんに遊びの材料を頂いて感謝です。